

第39回技術部会での 新たな技術基本計画に対する主なご意見

国土交通省
令和8年3月10日

1. インフラの重要性について

- ・ 日本の将来を支えるのは社会基盤であり、国土交通省が担っているということを表明してほしい。

⇒ 国土交通省技術基本計画について に、

『**国土交通分野が担う社会基盤とは、国民の安全・安心と経済成長を支える根幹**』と追記。

⇒ 第1章 3. 目指す社会の姿 2. 安全・安心な社会 に、

『我が国の持続的成長と国民生活の安定には、**強靱な社会基盤が不可欠**である』と追記。

2. AIへの留意について

- ・ 更なる高みを目指す中での懸念として、AIを含む技術を安心して使う仕組みが必要である。
- ・ AIが不得意なところを考えたときに、「責任の引き受け方」を考えると、人口減少化の国土交通政策を考える上で非常に重要である。

⇒ 国土交通省技術基本計画について に、

『本計画は、**AIを含む新たな科学技術の活用を強力に推進するものであるが、技術の限界を正しく認識し、意思決定の最終責任は人が負うことを忘れてはならない**』と追記。

⇒ 第3章 1. スマート社会 に、

『**AIの進化速度と不確実性を踏まえ、信頼性を高める技術開発と社会実装を並行して推進**することで、安全・安心な社会基盤の構築を図る。』と追記

3. 人材について

- ・ 新技術の導入が、既存の技術や技能の担い手を代替して、それが縮小する可能性、AI・デジタル技術が熟練技術を置き換えるものとしてではなく、熟練者が持つ暗黙知を形式知化して次世代へ継承するための手段として、どのように位置づけるのか。
- ・ 特に市町村の人材育成も明確に位置づけてほしい。
- ・ 人材について、全体として、地域分布、地域バランスをどうするかが非常に重要であり、その書きぶりが若干弱いと感じた。
- ・ 国を守る社会資本整備を担う人材に、誇りや愛情をどう思ってもらうかが極めて重要である。

⇒ 国土交通省技術基本計画について に、

『社会基盤を支える人材は他のいかなる資源にも代えがたいものである。人口減少や東京一極集中が続く中、**全ての地域における技術力の維持・強化は国家的課題**である。』と追記。

⇒ 第2章に

『国土交通省の職員のみならず**地方公共団体も含めた発注機関、受注者、建設コンサルタント等の建設業に携わる者**』
『これまでの**先人により蓄積されたアナログデータとAI等の最新技術を結びつけ、技術的な判断を支援するシステムなどを産学官で構築**』と追記。

4. 意思決定プロセスについて

- ・ イノベーション・エコシステムが技術を生み出し、使われ続ける仕組みと捉えた場合に、例えば、インフラの診断や点検によって得られた技術を今の既存のインフラを補修・補強するための設計条件や設計オプションの選択にどう反映させるかが重要である。
- ・ 限られた予算制約の中で優先順位付けや投資判断に繋げていくのはAIやデジタル技術だけでは解決せず、最後の意思決定をする重要性が増す。

⇒ 国土交通省技術基本計画について に、

『本計画は、AI を含む新たな科学技術の活用を強力に推進するものであるが、**技術の限界を正しく認識し、意思決定の最終責任は人が負うことを忘れてはならない。**技術の限界や外部不確実性を踏まえ、技術の恩恵を最大化しつつ、**技術では代替できない価値判断を人間が担う国土交通行政を確立する。**』と追記。

⇒ 第3章2. 防災・減災（2）インフラメンテナンス に、

『**維持管理の容易な構造の採用等を通じたメリハリのある維持管理をしていく必要性**』と追記。